

園芸学科通信

第14号



レイカディア大学・米原校

選抜講座 校外学習

秋の樹木管理実習を受講
講師：北村 正隆氏

平成29年度前期選抜講座の一環として「校外学習・秋の樹木管理実習」を実施しました。
今回の実習は、園芸学科第39期生及びサボート隊と、合同で実施しました。
校外学習は、平成29年11月7日、米原市春照にある「伊吹葉草の里文化センター」で行われました。この日「秋の樹木管理実習」に参加した人は、講師に樹木管理であり、校外学習時において、樹木の剪定や庭園の管理方法には定評のある北村正隆先生。また、樹木管理の実習時には、ある時は厳しく、また優しく指導してくれる米原校サボート隊のみならず、



作業開始前の北村講師による講義

実習当日は、あらかじめ決めていたとおり、脚立などの道具類を車まで運ぶ者や居住通学地域にいるメンバー数人でつがグループになり、自動車に分散して向かいました。集合場所である駐車場は、伊吹山を周回し眺めることができる場所であり、晴天に恵まれたこの日は伊吹山を見ながらの実習でした。
伊吹葉草の里文化センターの実習場所に集合した後は、個々に出入り確認を行い、集合場所である川村さんの進行で授業は進みました。
まず最初に、北村講師による「剪定作業について」の説明、作業にあたっての注意事項について、の連絡がありました。注意しついで、作業の開始です。あらかじめ班別指定を行った通り、作業場所に

分かれ作業に取り掛かりました。
わが園芸学科第39期生は、グルーブごとに分かれ、大きな樹木や目の前の灌木を相手に、ノコギリやハサミを使って選定作業に取り掛かりました。



ところが、剪定する樹木はいろいろで、木によって剪定のやり方も変わるので大変です。この枝を切り、どの枝を残すかなどをグルーブ内で話し合いながら行うのですが、やはり迷いがままです。その時は北村先生やサボート隊のみならず的確なアドバイスを受けての作業でした。剪定した木の後片付けを終え、すっきりとした庭園を見るとこのセンターを訪れる人にも、さすがが思いが通ってしまっていることが、思っている以上に掃除に気づきました。

選抜講座 校外学習

秋の樹木管理実習を受講
講師：北村 正隆氏

平成29年度前期選抜講座の一環として、今月2回目の「校外学習・秋の樹木管理実習」を実施しました。
今回の実習は、園芸学科第39期生及びサボート隊、そして園芸学科卒業生の参加で実施しました。
校外学習は、平成29年11月14日、近江八幡市本町にある近江八幡市立八幡小学校の校庭で行われました。
講師は、伊吹葉草の里文化センターに引き継ぎ、樹木管理の北村正隆先生と米原校サボート隊7名のみなさんでした。



この日の近江八幡小学校での剪定実習は、朝から天候に恵まれず、あいにくの雨。そのため中止されていた剪定実習は残念ながらも中止となりました。
急遽場所を移しての講義は、以前レイカディア大学米原校・34期生が課題学習として取り組まれ、整備された「奥村邸」に於いて、庭園の鑑賞と北村先生による座学となりました。
「奥村家住宅」の庭園は、レイカディア大学OJが課題学習の対象として、継続的に整備をされており、34期生メンバーの久木さんから、「樹木がうっそうと茂った庭の再生に努められたこと」「庭園の他、家屋の障子やふすまの張替え等を行ったこと」などが、第1500年の家屋を甦がえさせ、町屋として利用できる状態にすることができた。
同日庭園整備の概要や取り組みの中で苦労されたこと等の説明を受けました。引き続き、北村先生から庭園作業を行うこと等の諸注意点について、「特に配置されている石、灯籠などは元の形状を壊さないこと」「大きくなった樹木をこまめに戻すことができるかということ」を合議制で検討し進めていき、お互いにルールを共有することが重要であるという説明を受け、同庭園の見どころ等を講義していただきました。

課題学習の取組みを開始

取組テーマの園芸へのアドバイス
講師：北村 正隆氏

第39期園芸学科生による課題学習の取組みが開始されました。すでに、課題学習の目的やグループ作り、取り組む期間や課題学習の進め方等については、事務局から概要説明があり、また具体的な進め方やグループワーク手法については、滋賀県立大学地域共生センターの森川裕准教授の講義も受けました。
今回の北村先生の講義は、各グループがテーマを進めていく過程で、園芸に関わる部分に疑問があればアドバイスを求める形で進められました。課題が決定しているグループのそれぞれが、テーマの概要を説明し、テーマに沿った発表のスタイルは「こよみ」等、個々にアドバイスを受けました。
教員からの庭園整備、おから古墳の整備、大上川土手の桜並木の整備、高島老人ホームの環境整備、孤蓮庵の庭園参道の整備等、それぞれ抱えている問題点を洗い出し、アドバイスを受けたことが、課題学習に取り組み姿勢の意気込みが感じられました。

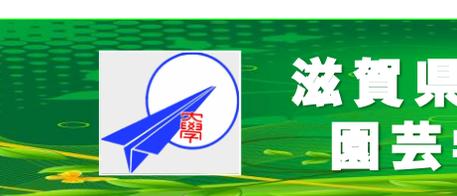
ホームページ講習会を開催

30期・40期生の情報委員
講師：上野野樹氏(サボート隊)

レイカディア大学米原校では、情報委員会が主体となって、ホームページの運用を行っています。新年度になり40期生を迎えた情報委員会は、39期及び40期の園芸学科、北江文化学科、健康つくり学科に在籍する情報委員を対象に「ホームページ作成講習会」を開催しました。
米原校のホームページを運用する目的は、「①各学科の学習活動を公開することで学生間の学び合いを深める。②広く一般にも公開することで、本大学の理解と協力を促す」と明記されています。
この運用目的を達成するための講習会は、十一月十八日(十一月二十四日に開催しました。講師は、サボート隊に所属の上野野樹氏で、個別支援として広報・情報委員が指導。この講習会2日間の目標は、「講習会を終える頃には、シンプルながら自分の学科のホームページを完成させる」をこころとして、各学科の情報委員は、あらかじめHPの運用ソフトをインストールしたパソコンを持参し講習会に臨みました。初日の内容は、①レイカディア大学米原校作成HPの紹介、②HPの仕組みを説明、③トップページを作成、④サブページの作成、⑤データをリンクさせる方法、でした。

第40期園芸学科入学歓迎会を開催

39期園芸学科情報委員
於：北ヒッコホホテルグレイエ



園芸学科の継承として、歴代先輩から受け継がれている新入生歓迎の宴を開催しました。十一月三十日(木)必修講座の終了後、送迎バスで長浜市港町の「北ヒッコホホテルグレイエ」に集合。親睦委員の廣田氏の司会、39期水原学科長、40期澤田副学科長の乾杯とくす玉割りで、歓迎会は始まりました。余興として、唄ありフラダンスがあり、大変盛り上がり、大変盛り上がり、レイカディア黄歌を全員で合唱し、40期寺嶋学科長の挨拶で歓迎会を閉会しました。40期生のみならず、今後ともよろしくお願いいたします。

講義は、あらかじめ上野講師が用意したデータを使って、見本通りのトップページを作ることから始めました。作成中、分からない部分があると、横についているサボート隊に聞きながら、同じ内容のトップページを作ることもできました。
その後、各期の受講者は、サブページを作成し、ファイル名や保存ホルダーの作り方やリンクの張り方を勉強。次回の講習会までに、各期のホームページを作成し、完成させるという目標が出されました。2日目は、各期ごとに目標として作成したホームページの内容を、みんなでフラッシュアップし、それぞれの学科のサイトとして完成させたものを、実際にレイカディア大学米原校のホームページに反映するため、転送の仕方を習いました。ホームページ作成の2日間の講習会は、サボート隊のフォローもあり、熱心に取り組んだ情報委員の努力もあり、大変有意義でありました。このことで、すべての学科がホームページを完成させることができ、広く一般にも公開することができました。

編集後記
平成29年11月30日発行「第39期・園芸学科通信第14号」を配布します。2年生になる、校外学習が多くなります。今月は、伊吹葉草の里文化センター「近江八幡市立八幡小学校」で、八幡小学校での授業となりました。園にたがれ作業は中止、奥村邸での授業となりました。各グループが課題学習に取り組みています。進捗状況などを発信したいと考えています。(生)